

中学時代バスケットボールに所属し、漫画スラムダンクというバスケットボール漫画の登場人物に影響され、高校留学を決意。父親に相談したところ、高校1年の1学期に父親に相談したところ、反対されたため、実費で渡米しますと書いた書置きとともに家出。

家出直後、とりあえず、仕事を探さなくてはとのことで、友達の家を渡り歩きながら、知人に求人欄が新聞に書いてあると知り、駅のキヨスクで、新聞を購入。その際に、購入した新聞が、東スポだった（東スポの求人欄には一般的に、風俗や怪しい職業のみ掲載されている）。その中で見つけたのが、“手取り35万保障、住み込み、営業職”という仕事。早速電話をすると、翌日から、広島に行ってくれとのことで、特に何の説明か受けずに、電車代だけ貰い広島へ。そこで、ホテルにチェックインすると、一緒に仕事するチームと紹介されたのが5-6人の怪しい人達でした。翌日から営業活動をしてみると、布団（怪しい）の営業でした。原価、5-6千円のを2-3十万で販売するという内容でした。最初は、大変かと思ったのですが、意外と売れて、初任給が手取りで90万はありました。半年ほど続けた際に、周りの環境（人達）があまりにも稼いだお金を楽しく使ってしまうため、一緒に稼いだお金を楽しく使ってしまい、稼ぎがあった上には、お金が貯まらないと言う事に気づき、転職。その後、また、新聞で仕事探し（また東スポ）。16か17歳だったため、まともな仕事が出来ないということに気づき、保険証のコピーの生年月日を少しいじって、2年ほど年を増やして仕事探し。そのときに見つかったのが、テレクラのフロント。仕事内容はほぼ、カラオケボックスの店員さんと一緒。手取りは40万ほどだったので、そこそこ貯まった。1年ほどして、年末調整の際、年がばれてしまい、退職。その後、佐川急便にて、1年ほど仕事をし、約300万円が溜まる。それを元に、18歳の時に渡米。

渡米後は、お金が尽きたら帰ろうと思っていたのですが、日本食レストランでバイトが出来る（本当はだめですが）ということを知り、アメリカに残りたいとおもう。渡米後約2年ほどは、ほぼ毎日、ジム、バスケ、バイトという日課です。徐々に、バスケをしながら、これで飯を食っていくということが分かりかけていたころ、知り合いのベビーシッターをしているところを手伝った際に、この仕事が楽しい、将来自分で幼稚園のようなものが経営できたらと思い、

教育を勉強するために、短大に入学。短大入学後数ヶ月して、一般教養の数学を勉強していた際に、数字が面白いという理由と、父親がバスケ留学を反対したという意地から、父と同じ業種の会計という分野で父の力を借りずに超えてやろうという気持ちで、会計専攻に変更。その後、4年制大学に編入し、卒業。4台監査法人をへて、2010年独立。